

〈特集〉

第62回掛川市農業協同組合通常総代会

期待に応える JAへ

第62回JA掛川市通常総代会を開催

第62回JA掛川市通常総代会が5月28日、掛川市生涯学習センターで開かれました。総代会には、総代484名のうち、388名（本人出席153名、書面決議235名）が出席。議事では、第62期事業報告及び剰余金処分案や第63期事業計画の設定など5議案が上程され、すべて原案通り可決承認されました。なお、剰余金処分のうち出資配当金は年1%、信用・購買事業を対象とした利用高配当は約1,650万円です。

今月号では、総代会で上程された議案内容の一部をご紹介します。

議長を務めた
小野通夫さん（原泉）



令和5年度事業実績

2か年計画の1年目 さすが市は堅調に推移

為替相場の円安などの影響により、穀物、肥料原料や燃油など農業生産資材の高止まりが続いています。そのような中、JAでは新たな2か年計画の1年目として、1持続可能な農業の実現に向けた生産基盤強化に取り組めます、ⅡJA運営の好循環に向けた組織基盤強化に取り組めます、Ⅲ「不断の自己改革」の実践を支える経営基盤の確立・強化に取り組めます、

の基本方針のもと、事業計画に沿って事業を進めました。基幹作物の茶業では、気象観測データを活用し気象変動に対応した指導や、土壌、荒茶分析を実施し、良質茶生産に取り組みました。また、付加価値の高い茶栽培として、有機JAS規格茶生産拡大のための生産指導を行いました。さすが市では、出荷登録者への野菜苗、種子供給や、JA間連携による店舗作りにより、来店客数および販売額ともに順調に増加しました。

各事業の実績

令和6年2月29日現在 (単位:千円)		
	実績	計画対比
貯金	114,301,824	98.7%
貸出金	34,598,539	99.9%
共済	7,197,806	89.9%
購買	2,445,922	103.2%
販売	2,221,655	101.4%
茶市場	1,300,436	81.2%
緑茶加工	520,753	86.7%

※共済の実績(ポイント)は当JAの換算基準により表示しています。

決議事項

- 第1号議案**
第62期(令和5年3月1日から令和6年2月29日まで)事業報告及び剰余金処分案承認について
- 第2号議案**
定款及び定款附属書総代選挙規程の一部変更について
- 第3号議案**
第63期(令和6年3月1日から令和7年2月28日まで)事業計画の設定について
- 第4号議案** 理事の報酬の決定について
- 第5号議案** 監事の報酬の決定について
- 附帯決議案**

令和5年度 JA掛川市 組合員表彰

農業後継者表彰

農業の近代化を目指し、担い手となる優秀な後継者を表彰します。



松本 英治
上内田
茶、野菜、果樹

優良組合員表彰

農業、農村文化の振興に貢献し、成績優良な生産者を表彰します。



松井 哲也
曾我
茶

厳しき続く農業情勢の中事業に取り組む

令和5年度の事業総利益は19億7,871万円で、管理費を引いた事業利益は5,646万円となりました。

販売事業では、さすが市の販売高は8億3,844万円(前年比103%)と増加したものの、茶やイチゴなどは減少し、販売事業総利益は前年比780万円減の1億5,629万円となりました。

購買事業では、肥料の供給高は増加したものの、農業機械や耐久消費財、やすらぎなどが減少。購買品供給高は14億8,006万円(前年比92%)となり、購買事業総利益は前年比2,020万円減の4億598万円となりました。

信用事業では、貸出金の強化や資金運用などにより、収益は8億9,954万円(前年比104%)となり、信用事業総利益は前年比2,917万円増の7億6,539万円となりました。

共済事業では、新規契約や既契約高の減少により、収益は5億5,117万円(前年比94%)となり、共済事業総利益は前年比3,622万円減の5億927万円となりました。

損益計算書

令和5年3月1日～令和6年2月29日 (単位:千円)	
事業総利益	1,978,710
(信用事業総利益)	765,395
(共済事業総利益)	509,275
(購買事業総利益)	405,983
(販売事業総利益)	156,294
(加工事業総利益)	136,055
(利用事業総利益)	27,705
(その他事業総利益)	13,896
(指導事業収支差額)	-35,895
事業管理費	1,922,243
(人件費)	1,387,030
事業利益	56,466
事業外収益	112,570
事業外費用	17,118
経常利益	151,918
特別利益	—
特別損失	55,878
税引前当期利益	96,039
法人税等合計	1,759
当期剰余金	94,279
当期首繰越剰余金	144,391
当期末処分剰余金	238,671

剰余金処分

(単位:円)	
金 額	
当期末処分剰余金	238,671,514
剰余金処分額	29,312,750
(利益準備金)	—
(任意積立金)	5,000,000
(出資配当金)	7,806,766
(利用高配当金)	16,505,984
次期繰越剰余金	209,358,764

第1号議案・第62期
事業報告(抜粋)については
こちらからご覧いただけます。

〈総代会資料〉



貸借対照表

令和6年2月29日現在 (単位:千円)	
資産の部	金 額
信用事業資産	114,546,685
(現金)	618,489
(預金)	69,495,450
(有価証券)	9,228,466
(貸出金)	34,598,539
共済事業資産	3,090
経済事業資産	908,480
(受取手形)	57,611
(経済事業未収金)	497,028
(棚卸資産)	363,950
(貸倒引当金)	-28,019
雑資産	424,638
固定資産	4,128,231
外部出資	5,103,788
資産の部合計	125,161,336

負債及び純資産の部	
金 額	
信用事業負債	115,147,471
(貯金)	114,301,824
(借入金)	94,072
共済事業負債	388,629
経済事業負債	239,882
(経済事業未払金)	239,869
雑負債	598,527
諸引当金	812,871
負債の部合計	117,187,383
出資金	788,862
利益剰余金	7,930,721
(うち当期剰余金)	94,279
その他有価証券評価差額金	-743,615
純資産の部合計	7,973,952
負債及び純資産の部合計	125,161,336

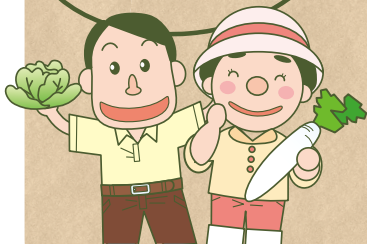
自己資本比率

自己資本比率

17.03%

利益準備金や積立金等の内部留保に努めてきた結果、17.03%と早期は正措置の基準である4%を大きく上回っています。

組合員の意見を
JA運営に反映



総代任期満了に伴う改選について

現任の総代は、令和6年11月30日をもって任期満了となります。令和6年12月1日からの新総代は、令和6年11月頃の選挙により決定します。

総代とは、正組合員の中から選ばれた方のことで、任期は3年です。組合員の代表として、JAにおける最高意思決定機関の総代会に出席し、JAの運営や事業活動の方向性を決定する役割を担っています。

JAには男性、女性の声を反映した事業運営が求められていて、総代に占める割合の低い女性総代の選出が求められています。



令和6年度事業計画

持続可能な農業の実現に向けて

茶



茶市場
前年度実績 1,300,436千円
本年度計画 1,380,000千円

緑茶加工
前年度実績 520,753千円
本年度計画 530,000千円

消費者が求める茶の生産指導と、構築に向けて協議を進める茶葉販フェアトレードを取り入れた荒茶販売体制により、所得向上に努めます。

各関係機関との連携を強化し、掛川茶の更なるブランド力向上と掛川茶振興に貢献します。

営農販売



一般
前年度実績 924,816千円
本年度計画 917,000千円

畜産
前年度実績 458,395千円
本年度計画 442,000千円

さすが市
前年度実績 838,443千円
本年度計画 843,000千円

農業所得向上のため、生産組織と一体となり、新たな販路拡大に向けた販売機能の強化や産地力の向上に取り組めます。

組合員の期待に応える営農指導の強化に向け、職員の資質向上を目指し、効果的な営農相談体制を構築します。

組織活動 組合員支援



生産拡大を担う担い手の育成と農地集積により、効率的な経営を進めます。組合員や地域住民との絆を深め、地域の特色を生かした農業振興に取り組めます。

購買



生産資材
前年度実績 1,784,165千円
本年度計画 1,603,000千円

生活資材
前年度実績 661,755千円
本年度計画 720,500千円

指導事業と連携し、地域特性を活かした農業振興や担い手育成、農家組合員支援により農家所得向上につなげていきます。出向く体制の強化を図り寄

共済



り添った訪問活動を実施します。

J A 営農・経済事業の成長・効率化プログラムの各取組事項に基づき、営農経済事業の収益改善に取り組みます。

5 J A 事業連携協議会購買作業部会、農機具分科会の取組事項を検討・実施し、円滑な購買事業運営を目指します。

利用者の利便性を図るため、「J A ポータル」の普及に取り組みます。

信用



貯金
前年度実績 114,301,824千円
本年度計画 114,700,000千円

貸出金
前年度実績 34,598,539千円
本年度計画 35,400,000千円

「農業・地域のファーストコールバンクへ」選ばれ必要とされ続けるJ A の実現」を掲げ、農業、地域振興における金融仲介機能を発揮し、お客さま本位の業務運営に努めます。「相談・提案型」推進による組合員・利用者満足度の向上、持続可能な農業と豊かで暮らしやすい地域社会の実現に向

総務

業務運営体制の見直しや組合員・利用者の相談に対応できる人材育成を進めます。また、持続可能な経営基盤の確立・強化とともに、組合員との対話を通じ、総合事業を基本として「不断の自己改革」に取り組み、組合員や地域の人々から信頼され地域になくはならないJ A づくりに努めます。

JA掛川市

不断の自己改革 Report

農業者の所得拡大・農業生産の拡大



重点目標

有機JAS規格茶の新規取り組み面積の拡大

令和5年度実績

1,117a
(目標対比139%)

付加価値をつけた茶の栽培や製造をすすめ、販売単価の向上につなげています。

令和6年度目標

1,200a



重点目標

さすが市取扱高の拡大

令和5年度実績

7億6,325万円
(目標対比103%)

出荷者数の増加や出荷品目の拡大に努め、豊富な地元農産物の販売に取り組んでいます。出荷登録者への野菜苗・種子を供給し、推進作物の生産拡大を行っています。

令和6年度目標

7億8,000万円



重点目標

主力品目イチゴの取扱高の拡大

令和5年度実績

5億1,072万円
(目標対比113%)

新規就農者の受入、独立支援を行い、生産者数の増加に取り組んでいます。

令和6年度目標

4億8,000万円

平成28年度より、組合員との対話に基づいて、「農業生産者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」を基本目標とする創造的自己改革の実践に全力で取り組んできました。

令和4年度からは、農業者の所得増大に取り組むほか、経営基盤強化や組合員との対話・意思反映をすすめ、さらなる進化を目指します。